

【日時・場所】 令和7年4月16日（水）303・304教室

【出席者】 三上校長、立石教務課長、海野総務課長、齊藤就職支援課長代理、
植松教務課長補佐、上杉委員、小山委員、長谷川委員、竹内委員、石上委員、
分部委員、三枝委員、秀浦委員、渡邊委員

【欠席者】 山田総務課長代理、奥野入試広報課長補佐

議 事

1. 令和6年度 教育方針 の確認

〈教育方針〉

沼情のミッション「人と技術の共生する時代に、人として働き抜くための学びを」

- 知識を身につけ根拠を持って判断し、行動できる社会人へ
- 方向・進路 × 情熱・意欲 × 時間・積み重ね
- 今この時、その一瞬を大切に
- 人の力とデジタルで、自然あふれる地域を未来につなぐ

2. 評価項目の達成及び取組状況 の確認

評価方法： 4（適切）→ 3（ほぼ適切）→ 2（やや不適切）→ 1（不適切）

※自己評価の平均は、小数点第2位を四捨五入する。平均値3.5未満は赤で表示。

（1）教育理念・目標

評価欄

1-1	教育理念並びに教育目標が明確に示されているか	3.9
1-2	学校における職業教育の特色が明確に示されているか	3.9
1-3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3.9
1-4	理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	3.6
1-5	各学科の教育目標、育成人材像は、業界のニーズに向けて方向づけられているか	3.9
学校自己評価 平均		3.8
成果と課題 ・教育理念並びに教育目標は、学生便覧に記載されており、入学時のオリエンテーションで入学生全員に周知されている。 ・HPや学生便覧等で明確に示されている。またオープンキャンパス等でも説明している。		
今後の改善方策 ・これまでの学校案内には教育理念の記載がないため、2026年度版では記載を追加する。		

（2）教育活動

評価欄

2-1	シラバスが作成され学生に配布されているか	4.0
2-2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.9

2-3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4.0
2-4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3.7
2-5	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3.6
2-6	授業評価の実施・評価体制はあるか	3.9
2-7	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	3.8
2-8	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3.9
2-9	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3.5
2-10	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3.6
2-11	関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3.9
2-12	目標に到達しない学生に対し適切なフォローがなされているか	3.5
学校自己評価 平均		3.8
<u>成果と課題</u> ・各科目の初回授業時にシラバスを配布、共有ファイルとしても閲覧できるようにしている。 ・学生便覧に修業年限に対応した教育到達レベルを示し、それに合わせた学習時間を設定している。 ・講師からの意見を取り入れ、カリキュラムや教育方法を工夫し、開発している。 ・1 年次より会社見学やインターンシップに参加するなど、関連分野における実践的な職業教育を体系的に位置づけている。 ・半期毎に学校アンケート・授業アンケートを実施している。その結果を踏まえ、外部講師を含め授業内容の改善を図っている。 ・各科目での評価方法をシラバスに示し、それらに基づいた成績評価を行っている。		
<u>今後の改善方策</u> ・資格取得におけるカリキュラムの体系立てはできているが、資格試験の結果に対する検証についてはさらに強化する必要がある。		

（３）教育成果

評価欄

3-1	就職率の向上が図られているか	3.9
3-2	資格取得率の向上が図られているか	3.5
3-3	退学率の低減が図られているか	3.2
3-4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3.2
学校自己評価 平均		3.5

<u>成果と課題</u> ・就職に対する意識付けは入学時より継続して様々な機会に行っている。 ・就職率 100%は常に目標としている。100%を維持するための施策も毎年練られている。 ・資格取得のための対策授業や補講等を行い取得率の向上を目指しているが、目標値には届いていない。 ・卒業生の動向について、積極的な把握に至っていない。
<u>今後の改善方策</u> ・主要資格については個別指導支援するなどできているが、検定資格は指導方法等見直しも必要。 ・1年生の退学者が多く出ている。今後は学生への早期面談実施などの取り組みを今以上に進めたい。 ・卒業生、企業様へのアンケート（卒業後1年目、3年目）を活用していく。

(4) 学生支援

評価欄

4-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3.8
4-2	学生相談に関する体制は整備されているか	3.8
4-3	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	3.7
4-4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3.5
4-5	保護者と適切に連携しているか	3.6
4-6	卒業生への支援体制はあるか	3.1
4-7	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3.6
4-8	新たな求人開拓の努力はしているか	3.9
4-9	課外活動に対する支援体制は整備されているか	3.5
4-10	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3.5
学校自己評価 平均		3.6

<u>成果と課題</u> ・担任と就職担当が連携し支援できている。また求人情報の提供方法等も整備されている。 ・担任以外にも専門のカウンセラーに相談できる体制が整備されている。 ・留学生に対する奨学金が少ないため、十分であるとは言えない。 ・修学支援新制度の認定校となっており、入学前から案内をしている。 ・保健室の設置、空気清浄機の設置、換気の徹底など、感染症対策など健康管理を行っている。 ・必要に応じて保護者と連絡を取っているが、問題がない学生の保護者との接点は少ない。 ・進路説明会やガイダンス等には積極的に参加し、キャリア教育や専門学校の説明が行われている。 ・就職担当と協力の上、求人開拓を行い、求人数も増加している。 ・学科の課外活動においては後援会からの補助を受けることができる。
<u>今後の改善方策</u> ・学生の経済的支援について、公的なものや学園のサポートプランはあるが、昨今の経済状況を考えるとさらなる充実が求められる。 ・卒業生への追跡調査を実施。また、OB・OGを招待した講演会や特別授業など、もう一歩踏み込んだ仕組みが必要かと思われる。

(5) 教育環境

評価欄

5-1	講義室、実習室の管理は適切に行われているか	3.6
5-2	実習室及び講義室は学生の自習室として開放しているか。	3.7
5-3	教育用機器備品は整備されており活用されているか	3.8
5-4	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3.5
5-5	防災に対する体制は整備されているか	3.4
5-6	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3.6
学校自己評価 平均		3.6

成果と課題

- ・各教室、各実習室に管理担当者が割り振られており、適切に管理を行っている。
- ・実習室及び講義室は必要に応じて学生への開放は行われている。
- ・積極的に備品や消耗品整理が行われており、教育インフラに対する投資もしっかり行われている。
- ・避難訓練や教職員への救護訓練を定期開催。危機管理マニュアル作成中。
- ・課外活動に対してコロナ対応も落ち着き、少しずつ実施再開の動きは見せている。

今後の改善方策

- ・インターンシップについては受け入れ先に依存している。
- ・避難訓練の実施方法を再考する。また、防災品の充実を図る。安否確認システムの訓練を行う。

(6) 学生の募集と受け入れ

評価欄

6-1	入学案内には志願者が必要とする情報が掲載されているか	4.0
6-2	募集要項の内容は適切か	4.0
6-3	学生募集活動は、適正に行われているか	3.9
6-4	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3.9
6-5	学納金は妥当なものとなっているか	4.0
学校自己評価 平均		4.0

成果と課題

- ・入学案内・募集要項は毎年更新され必要な情報を志願者に提供している。
- ・資格取得実績を HP で公開している。コンテスト入賞者や、就職先、資格取得など本人承諾の上で本校ホームページ上または新聞紙面に公表されている。
- ・教育成果は最新のものがオープンキャンパス、ホームページ、パンフレット等で公表されている。

今後の改善方策

- ・学生募集活動は現在適切に行われ、妥当であるとの判断している。

(7) 教職員組織、学校運営・管理、財務、法令等の遵守

評価欄

7-1	教職員の能力、業務内容の評価を定期的実施しているか	3.7
7-2	組織間、各部署間の連携は適切に図られているか	3.4
7-3	非常時の危機対策管理に対する周知は徹底されているか	3.4

7-4	消防計画、学校安全計画は適切に整備し、防災訓練等は実施されているか	3.5
7-5	目的等に沿った運営方針が策定されているか	3.9
7-6	事業計画に沿った運営方針が策定されているか	3.9
7-7	運営組織や意思決定機能は、規則等で明確化されているか、有効に機能しているか	3.7
7-8	人事、給与に関する制度は整備されているか	3.7
7-9	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3.8
7-10	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4.0
7-11	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3.7
7-12	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3.3
7-13	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3.7
7-14	財務について会計監査が適正に行われているか	4.0
7-15	財務情報公開の体制整備はできているか	4.0
7-16	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4.0
7-17	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.8
7-18	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3.8
7-19	自己評価結果を公開しているか	4.0
7-20	ハラスメントに対する防止対応策が整備されているか	4.0
学校自己評価 平均		3.8

成果と課題

- ・法人の人事評価制度により、適切なタイミングで目標設定と進捗確認、評価がされている。
- ・法人の人事評価システムで評価されていると思われるが、フィードバックがなく不明確である。
- ・内部組織間の連携は取れている。各所属レベルでの連携はその濃淡にばらつきがある。
- ・防災訓練は学科ごとには実施されているが、全体での防災訓練も必要だと思われる。
- ・理事長方針と担当理事方針が発せられ、それに基づく所属長方針をもとに部門にて実施計画を作成し実行している。
- ・必要に応じた意思決定がなされるようフロー、会議が実施されている。
- ・人事・給与については法人の人事規程が整備されている。
- ・システム化されてきてはいるが、業務が効率化されているかは疑問が残る。
- ・少子化によるこれからの学生数の減少スピードが速いため、強固な地盤固めが必要と感じる。
- ・定期的に会計監査が実施され適正に処理されている。
- ・法令を遵守し適正な運営を行っている。
- ・個人情報保護対策は取られているが、非常勤講師を含め知識の確認は必要だと考える。

今後の改善方策

- ・非常勤講師への危機管理等周知の徹底。
- ・必要なコストカットや適切な投資計画がなされているが、財政状況から更なる精査が必要である。

(8) 社会貢献・地域貢献、国際交流

評価欄

8-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.7
8-2	留学生の受入れ・派遣等において適切な手続き等がとられているか	3.8

8-3	留学生の受入れに対して、学内での適切な体制が整備されているか	3.8
8-4	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	2.9
8-5	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3.5
学校自己評価 平均		3.5
<u>成果と課題</u> ・地元小中学校と連携した授業を行う等、社会貢献・地域貢献を意識した活動がされている。 ・現在社会人に対するリカレント体制を整備中。 ・児童養護施設への誕生日ケーキプレゼントを毎月実施している ・留学生の受け入れに対し、適切な体制が整備されている。 ・地域への公開講座などは特定学科に限定されており、積極的に進める体制にはなっていない。		
<u>今後の改善方策</u> ・教育訓練給付制度講座指定認定校となり、今後、積極的な取組を行う。 ・地域に対する公開講座については、まずは卒業生に向けたものも含め検討をしていく。		

以 上